

[記入方法] 色付き部分の各セルをクリックして、該当項目を選択する。

考查項目	細 別	a	b	c	d	e
施工状況	4 工程管理	非常に優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
	<p>◇ 現場または施工条件の変更等、特に工期的な制約がある場合において、遅れを発生させることなく工事を完成させた。</p> <p>◇ 隣接または同一現場の他工事との積極的な工程調整を行い、工事全体の円滑な進捗に寄与している。</p> <p>◆ 地元住民等及び関係機関との調整を積極的に行い、遅れを発生させることなく工事を完成させた。</p> <p>◆ 適切な人員管理と工程管理により、休日や夜間工事の回避を行った。</p> <p>◆ 配置技術者または現場代理人の、工程管理に対する積極的な取り組みが見られた。</p> <p>◇ 工事施工箇所が広範囲に点在している場合において、工程管理を的確に行い遅れを発生させることなく工事を完成させた。</p> <p>◇ その他 (理由: )</p> <p>※ ◆は、必須評価項目を示す。</p> <p>判断基準                      該当 4 項目以上・・・ a                      該当 2 項目・・・・・・ b                      該当項目なし・・・・・・ c</p>					
	5 安全対策	非常に優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	やや劣っている	劣っている
	<p>◆ 建設労働災害、公衆災害の防止に積極的に取り組んだ。</p> <p>◆ 安全衛生管理体制を確立し、組織的に取り組んだ。</p> <p>◆ 安全衛生管理活動に積極的に取り組んだ。</p> <p>◆ 安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んだ。</p> <p>◇ 安全協議会活動に積極的に取り組んだ。</p> <p>◇ 安全対策に対する取り組みが、地域から評価された。</p> <p>◇ その他 (理由: )</p> <p>※ ◆は、必須評価項目を示す。</p> <p>判断基準                      該当 4 項目以上・・・ a                      該当 2 項目・・・・・・ b                      該当項目なし・・・・・・ c</p>					

<p>工事特性</p>	<p>細別</p>	<p>技術力キーリーダー一覧表</p>	<p>【事例】 具体的な評価技術力項目及び工事事例</p>
<p>10 施工条件等への対応 キーワード評価</p>	<p>■施工規模の大きさへの対応  <input type="checkbox"/> 1. 対象構造物の高さ、延長、施工（断）面積、施工深度等の規模  <input type="checkbox"/> 2. その他                      理由： _____</p> <p>■構造物固有の難しさへの対応  <input type="checkbox"/> 3. 対象構造物の形状の複雑さ（土被り厚やトンネル線形等を含む）  <input type="checkbox"/> 4. 既設構造物の補強、撤去等特殊な工事  <input type="checkbox"/> 5. その他                      理由： _____</p> <p>■技術固有の難しさへの対応  <input type="checkbox"/> 6. 工種及び工法の特異性  <input type="checkbox"/> 7. 新工法（機器類を含む）及び新材料の適用  <input type="checkbox"/> 8. その他                      理由： _____</p> <p>■厳しい自然・地盤条件への対応  <input type="checkbox"/> 9. 湧水の発生、地下水の影響（地盤掘削時）  <input type="checkbox"/> 10. 軟弱地盤、支持地盤の状況  <input type="checkbox"/> 11. 河川内・海域・急峻な地盤条件下等及び工事用道路・作業スペース等の制約  <input type="checkbox"/> 12. 雨・雪・風・気温・波浪等の影響  <input type="checkbox"/> 13. 地すべり等の地質条件、急流河川での水流、海域での潮流等の影響、動植物等に対する配慮等  <input type="checkbox"/> 14. その他                      理由： _____</p> <p>■厳しい周辺環境等、社会条件への対応  <input type="checkbox"/> 15. 地中埋設物等の地中内の作業障害物  <input type="checkbox"/> 16. 工事の影響に配慮すべき鉄道営業線・供用中の道路・架空線・建築物等の近接物  <input type="checkbox"/> 17. 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮  <input type="checkbox"/> 18. 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮  <input type="checkbox"/> 19. 生活道路を利用しての資機材搬入等の工事用道路の制約、路面覆工下・高架下等の作業スペース制約  <input type="checkbox"/> 20. 現道上で、特に交通規制及びその処理が伴う作業  <input type="checkbox"/> 21. 騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等  <input type="checkbox"/> 22. 工事区域周辺の航行船舶への配慮  <input type="checkbox"/> 23. その他                      理由： _____</p> <p>■施工現場での対応  <input type="checkbox"/> 24. 災害等での臨機の処置  <input type="checkbox"/> 25. 施工状況（条件）の変化に対応した施工・工法等の自発的提案と対応等  <input type="checkbox"/> 26. その他                      理由： _____</p> <p>■その他  <input type="checkbox"/> 27. その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する必要がある事項                      理由： _____</p>	<p>【施工規模が大規模】 下記の該当する項目が、高度技術で評価できる場合                      ・切土・盛土工 15m<sup>3</sup>&lt;V                      ・護岸・築堤高 10m&lt;H                      ・トンネル(シールド) 10m&lt;φ                      ・ダム用水門&lt;設計水深25m                      ・樋門・樋管 15m<sup>2</sup>&lt;A                      ・揚排水機場 2000mm&lt;φ                      ・堰、水門 最大径間長25m以上又は径間数3径間以上又は50m<sup>2</sup>/門                      ・トンネル(開削工法) 20m&lt;H                      ・トンネル(NATM) 内空断面積 85m<sup>2</sup>&lt;A                      ・トンネル(沈埋工法) 300m<sup>2</sup>&lt;A                      ・海岸堤防、護岸、突堤、離岸堤 水深10m&lt;H                      ・地滑り防止工 100m&lt;W                      又は150m&lt;L                      ・浚渫工 100万m<sup>3</sup>&lt;V                      ・流路工 500m<sup>3</sup>&lt;Q                      ・砂防ダム 30m&lt;H                      ・ダム高 150m&lt;H                      ・転流トンネル 400m<sup>3</sup>/s&lt;Q                      ・橋梁下部工 高さ 30m&lt;H                      ・橋梁上部工 最大支間長 100m&lt;L</p> <p>【事例：構造物固有な施工難度と対応工法等】                      ・地山強度が低い。また土被りが薄いため、FEM解析等の施工のための検討が必要な工事。                      ・砂防工事等で現地調査に基づき、現地合わせの再設計と施工が必要な工事。                      ・鉄道営業線に隣接した橋脚の耐震補強工事や河道内の流水部における橋脚撤去工事。                      ・供用中の道路トンネルの活線拡幅工事。等                      ・施工場所や構造物の特殊性に対処するための新技術、新工法を採用した工事。</p> <p>・パイロット工事又は特異な試験フィールド工事等で特許工法等の技術的に検討が必要な工事                      ・その他、コンピュータシミュレーション等が必要な設計や特殊な工法及び材料等を用いた工事。等                      ・VE提案された工法等が高度技術として評価できる場合                      ・構造物固有の難しさ、技術固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事                      ・その他、構造物固有の難しさ、技術固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事</p> <p>【事例：自然及び地盤条件への対応工事等】                      ・河川内の橋脚工事等で、地下水位が高く、ウェル・イント等の排水設備の他、大規模な山留め工法が必要な工事。                      ・支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎の1本毎に地質調査を実施する他、支持地盤を確認しながら再設計した工事。                      ・軟弱地盤上の緩速盛土のため、施工不可能日（待ち時間）が多く、施工機械の稼働率と施工台数等を的確に把握した工事。                      ・急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。または命綱を使用する必要があった工事（法面工は除く）                      ・斜面上若しくは急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策施工後に、施工した工事。                      ・海岸・海上及び河川内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する事。                      ・波浪や水位変動が大きいため、作業構台等を設置した工事。また、作業構台等の設置や作業工程から潜水夫を多用した工事                      ・国定公園内での工事。または木材等の貴重種の保護のため、施工時期が限定されたり、施工方法等が制限された工事。                      ・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。</p> <p>【事例：周辺環境や社会条件等の施工現場での対応が必要になった工事等】                      ・横断函渠工事や電線地中化工事等の現道開削工事で、ガス管・水道管・電話線等の移設が施工工程に大きく影響した工事。                      ・鉄道営業線及び供用中道路を跨ぐ跨線橋又は跨道橋工事。                      ・市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。                      ・市街地での夜間工事。                      ・D1D地区での工事。                      ・供用中の道路（概ね日交通量1万台以上）で片側交互通行の交通規制をした工事。                      ・供用中の道路での舗装及び修繕工事等。                      ・供用している自専道等の路上工事で交通規制が必要な工事。                      ・一般船舶の航行が多く、工事実施にあたり関係機関等との調整及び施工上の制約が多い工事。                      ・支障物件の移設が工程上リテイクになり、工程の遅れを生じ、回復に機械、人員等の増強を行った工事                      ・工事期間中の大半にわたって、規制標識類の設置・撤去を日々行い、交通開放を行った工事。                      ・地元調整や環境対策の制約が特に多い工事。</p> <p>・工事の実施にあたり、各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事。                      ・工事に先立ち又は施工中で、監視・観測等の結果に基づき、工法変更を行った工事。                      ・環境対策が工程に大きな影響を与えた工事。                      ・施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事                      ・大気圧を越える気圧下の作業室での工事。                      ・酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事。地上・水面から10m以上（10m以下）での工事。                      ・工程上、他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事。                      ・その他、周辺環境又は社会条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事</p> <p>【その他】                      ・その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する技術。</p>	<p>【施工条件等への対応のキーワードの詳細】</p>
<p>記述評価 【レマークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述】</p>	<p>評点：                      ※・高度な技術力は、加点点評価とする                      ・加点は+20点～0点の範囲とする。                      ・該当キーワード数の数と重みを勘案して評点する。                      1項目2点を目安とするが、内容によってはそれ以上または以下の点数を与えてもよい。</p>	<p>理由： _____</p>	<p>理由： _____</p>

別紙-2③ (建築・設備)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

( 総括監督職員 )

審査項目	細 別	技 術 力 キ ー ワ ー ド 一 覧 表	【事例】 具 体 的 な 評 価 技 術 力 項 目 及 び 工 事 事 例
工事特性	10 施工条件等への対応 キーワード評価	<p>■施工規模の大きさへの対応</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 対象構造物の高さ、施工面積等の規模</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 対象構造物の形状の複雑さ</p> <p><input type="checkbox"/> 3. その他（理由）</p> <p>■構造物固有の難しさへの対応</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 対象構造物の耐震レベル</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 既設構造物の補強、撤去等特殊な工事</p> <p><input type="checkbox"/> 6. その他（理由）</p> <p>■技術固有の難しさへの対応</p> <p><input type="checkbox"/> 7. 工程及び工法の特異性</p> <p><input type="checkbox"/> 8. 新工法（機器類を含む）及び新材料の適用</p> <p><input type="checkbox"/> 9. その他（理由）</p> <p>■厳しい自然・地盤条件への対応</p> <p><input type="checkbox"/> 10. 湧水の発生、地下水の影響（地盤掘削時）</p> <p><input type="checkbox"/> 11. 軟弱地盤、支持地盤の状況</p> <p><input type="checkbox"/> 12. 工事用道路・作業スペース等の制約</p> <p><input type="checkbox"/> 13. 雨・雪・風・気温等の影響</p> <p><input type="checkbox"/> 14. その他（理由）</p> <p>■厳しい周辺環境等、社会条件への対応</p> <p><input type="checkbox"/> 15. 地中埋設物等の地中内の作業障害物</p> <p><input type="checkbox"/> 16. 工事の影響に配慮すべき鉄道営業線・供用中の道路・架空線・建築物等の近接物</p> <p><input type="checkbox"/> 17. 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮</p> <p><input type="checkbox"/> 18. 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮</p> <p><input type="checkbox"/> 19. 生活道路を利用する資機材搬入等の工事用道路の制約</p> <p><input type="checkbox"/> 20. 現道上で、特に交通規制及びその処理に伴う作業</p> <p><input type="checkbox"/> 21. 騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等</p> <p><input type="checkbox"/> 22. その他（理由）</p> <p>■施工現場での対応</p> <p><input type="checkbox"/> 23. 災害等での臨機の処置</p> <p><input type="checkbox"/> 24. 施工状況（条件）の変化に対応した施工・工法等の自発的提案と対応等</p> <p><input type="checkbox"/> 25. その他（理由）</p> <p>■その他</p> <p><input type="checkbox"/> 26. その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する必要がある事項（理由）</p>	<p>・延べ面積10,000㎡以上の建物</p> <p>・地上9階以上の建物</p> <p>・地下2階以上の建物</p> <p>・大空間のホール等を有する建物</p> <p>・研究所等、特殊設備・機能の有する建物</p> <p>・建築工事で官庁施設の総合耐震計画基準においてI類及びA類に属する工事</p> <p>・電気設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事</p> <p>・機械設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事</p> <p>・耐震及び免震構造の工事</p> <p>・敷地内又は周辺部の工作物、配管・配線等の大規模な移設、切り直しを行った工事</p> <p>・仮設備等を設け、配管・配線等の盛替え等を必要とする改修工事</p> <p>・休日・夜間作業が工程の60%以上をしめる改修工事</p> <p>・施工場所や構造物の特異性に対処するための新技術、新工法を採用した工事</p> <p>・パイロット工事、又は特異な試験(イールド)工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事</p> <p>・その他、特殊な工法及び材料を用いた工事</p> <p>・特殊な設備システムを採用した工事</p> <p>・VE提案された工法等が高度技術で評価できる工事</p> <p>・地下水位が低く、ウエルポイント等の排水設備その他、大規模な山止め工法が必要な工事</p> <p>・冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制約を受けた工事</p> <p>・施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事</p> <p>・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事</p> <p>・地元調整や環境対策の制約が特に多い工事</p> <p>・工事の実施にあたり各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制約を受けた工事</p> <p>・工事に先立ち又は工事施工中で、監視・観測等の結果に基づき、工法変更を行った工事</p> <p>・環境対策が工程に大きく影響を与えた工事</p> <p>・大気圧を超える気圧下の作業室での工事</p> <p>・酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策に必要な工事・地上・水面から10m以上（10m以下）での工事</p> <p>・工程上他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事</p> <p>・大規模なテレビ電波障害対策工事を行った工事</p> <p>・その他、周辺環境又は社会条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事</p> <p>・特に困難な調整を要する他工事（近接工区）の請負者が複数ある工事</p> <p>・外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者・通行人等の動線がある工事</p> <p>・その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する技術</p>
記述評価 【レマークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述】		<p>評 点： 点</p> <p>※・高度な技術力は、加点評価とする</p> <p>・ 加点は+20点～0点の範囲とする</p> <p>・ 該当キーワード数の数と重みを勘案して評点する</p> <p>1項目2点を目安とするが、内容によってはそれ以上または以下の点数を与えてもよい</p>	【施工条件等への対応のキーワードの詳細】

別紙-2④

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

( 総括監督職員 )

考査項目	細 別	a	a'	b	b'	c
社会性等	12 地域への貢献度	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない
<p>◆ 周辺地域等の環境保全、貴重種等の動・植物保護等について、具体的な対策をした。</p> <p>◆ 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、積極的に周辺地域との調和を図った。</p> <p>◆ 定期的に応報紙の配布や現場見学会等を実施し、地域とのコミュニケーションを図った。</p> <p>◇ 地域が主催するイベントやボランティア活動等へ積極的に参加した。</p> <p>◇ 災害時等に地域への援助・救援活動に積極的に協力した。</p> <p>◇ その他 (理由: )</p> <p>※ ◆は、必須評価項目を示す。</p> <p>判断基準                      該当 4 項目以上・・・ a                      該当 3 項目・・・ a'                      該当 2 項目・・・ b                      該当 1 項目・・・ b'                      該当なし・・・ c</p>						

※地域への貢献度とは、工事の施工に伴う、地域社会や住民に対する配慮等の貢献について加点評価する。

14 法令遵守等	法令遵守等の該当項目一覧表																				
14 法令遵守等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">措 置 内 容</th> <th style="text-align: center;">点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 1. 指名停止3ヶ月以上</td> <td style="text-align: center;">-20点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満</td> <td style="text-align: center;">-15点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満</td> <td style="text-align: center;">-13点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満</td> <td style="text-align: center;">-10点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 5. 文書注意</td> <td style="text-align: center;">-8点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 6. 口頭注意</td> <td style="text-align: center;">-5点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微な原因のため、口頭注意以上の処分がなかった場合（不問で処分した案件。もらい事故や交通事故は含まない。）</td> <td style="text-align: center;">-3点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 8. その他 理由：</td> <td style="text-align: center;">点</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 9. 該当項目なし</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>① この審査項目で評価する事例は、工事の施工にあたり工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった場合に適用する。</p> <p>② 「工事の施工にあたり」とは、請負契約書の記載内容（工事名、工期、施工場所等）を履行することに限定する。</p> <p>③ 工事関係者とは、②を履行する工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従業員及び②を履行するために下請契約し、その履行をするために従事する者に限定する。</p> <p>④ 総合評価落札方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、8. その他の項目で減ずる措置を行う。</p> <p>【上記で評価する場合の適応事例】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入札前に提出した調査資料等が虚偽であった事実が判明した。</li> <li>2. 承諾なしに権利義務等第三者譲渡または承継を行った。</li> <li>3. 宿舍環境等の使用人等に関する労働条件に問題があり、送検等された。</li> <li>4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。</li> <li>5. 当該工事関係者が贈収賄等により逮捕または公訴された。</li> <li>6. 建設業法に違反する事実が判明した。（例：一括下請負、技術者の専任違反等）</li> <li>7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検等された。</li> <li>8. 使用人等の就労に関する労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。</li> <li>9. 監督または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。あるいは不当な政治力等の圧力をかけ、妨害した。</li> <li>10. 下請代金遅延防止法第4条に規定する下請代金の支払を期日以内に行っていない。あるいは不当に下請代金の額を減じている。あるいはそれに類する行為がある。</li> <li>11. 過積載の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。</li> <li>12. 受注企業の社員に指定暴力団あるいは指定暴力団の傘下組織（団体）に属する構成員、準構成員、企業舎弟等、暴力団関係者がいることが判明した。</li> <li>13. 下請に暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは暴力団対策法第9条に記載されている、砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。</li> <li>14. 安全管理の措置が不適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。</li> <li>15. 施工体制台帳、施工体系図が不備で、監督職員から文書等による改善指示を行ったが、これに従わなかった。</li> <li>16. その他（理由： _____ )</li> </ol>	措 置 内 容	点数	<input type="checkbox"/> 1. 指名停止3ヶ月以上	-20点	<input type="checkbox"/> 2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点	<input type="checkbox"/> 3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点	<input type="checkbox"/> 4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10点	<input type="checkbox"/> 5. 文書注意	-8点	<input type="checkbox"/> 6. 口頭注意	-5点	<input type="checkbox"/> 7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微な原因のため、口頭注意以上の処分がなかった場合（不問で処分した案件。もらい事故や交通事故は含まない。）	-3点	<input type="checkbox"/> 8. その他 理由：	点	<input type="checkbox"/> 9. 該当項目なし	
措 置 内 容	点数																				
<input type="checkbox"/> 1. 指名停止3ヶ月以上	-20点																				
<input type="checkbox"/> 2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点																				
<input type="checkbox"/> 3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点																				
<input type="checkbox"/> 4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10点																				
<input type="checkbox"/> 5. 文書注意	-8点																				
<input type="checkbox"/> 6. 口頭注意	-5点																				
<input type="checkbox"/> 7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微な原因のため、口頭注意以上の処分がなかった場合（不問で処分した案件。もらい事故や交通事故は含まない。）	-3点																				
<input type="checkbox"/> 8. その他 理由：	点																				
<input type="checkbox"/> 9. 該当項目なし																					